

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅲ-4-4 文化財の保存・継承と活用
---------	----------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	文化財課長 丹羽野 裕	電話番号	0852-22-6468
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	指定文化財等保護事務		
目的	(1) 対象	県民・所有者	
	(2) 意図	県民が、郷土への愛着や誇りを持てるよう、文化財を将来にわたって確実に継承し、活用できるようにする。	
事業概要	文化財を将来にわたって確実に継承し、活用できるようにするため、島根県文化財保護審議会の開催、文化財保護法や島根県文化財保護条例等に基づく指定文化財の調査・指定事務及び修理・整備指導などの事務を行っている。また、文化財愛護思想の普及啓発事業や博物館法に基づく博物館の登録事務、銃砲刀剣類取締法にもとづく銃砲刀剣類登録事務なども行っている。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			国指定・県指定文化財の総指定件数	目標値		757.00	764.00	
式・定義	国指定文化財件数+県指定文化財件数+登録文化財件数	実績値	749.00	756.00	774.00	783.00		
		達成率		99.90	101.30	100.60		%
指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位	
		目標値	0.00	0.00			件	
式・定義	実績値	0.00	0.00	0.00				
		達成率	0.00	0.00			%	

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	1,954	1,663
うち一般財源(千円)	1,954	1,663

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

平成26年度は、新たに鱒淵寺の「神像」「懸仏」「鏡像」「僧形坐像」「密教法具」の5件が県指定された。国の登録有形文化財には安来市の山常楼ほか3件が登録された。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

県内の文化財指定等は着実に進んでいる。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
建造物、歴史資料、名勝・天然記念物など、分野によっては指定による保護を図るための専門的な調査が不足している。
- ②困っている状況が発生している「原因」
専門的な調査を行うための人材の不足。
- ③原因を解消するための「課題」
島根県文化財保護審議会委員や、大学・博物館・美術館などの外部の専門家と連携して情報収集する。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

島根県文化財保護審議会委員や、各分野の専門家の指導・助言を得ながら、指定候補物件をリストアップする方法により、指定候補の確実な資料の蓄積を図ることで指定を進めていく。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）